

補助事業概要の広報資料

補助事業番号 23-1-157

補助事業名 平成23年度 実践的研究を通じた人間力育成支援活動「仕事プレゼン2011」

補助事業者名 特定非営利活動法人 日本エデュテイメントカレッジ

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

実践的研究を通じた小学校におけるキャリア教育として、児童が生活する地域密着型の「仕事プレゼン2011」を開催することで、児童がより仕事に対して、自ら考え、行動できる人間力育成に寄与する。

(2) 実施内容

[事業完了報告 \(News\)](#)

ア. 企画会議（事前準備）計4回

小学生で構成された当日へ向けての準備委員会は、当初予定していた高学年のみにはなかったものの、異学年での構成メンバーは、活発な意見を出してくれて、当日に向けての大きな力を発揮した。

そのことは、授業では見られない生徒の長所を発見することにもなったようである。（学校関係者談）



イ. 仕事プレゼングランプリ 1回

発表する側と審査する側が逆転した内容は、双方（審査員である子どもと発表者である大人）にとって大きな意味をもたらすものとなり、当日の子ども達の様子から、新たなキャリア教育の視点、子どもの能力の見極め方など、今後の学校教育や評価における一つの指針にもなると当該小学校の副校長先生からお話しをいただいた。



ウ. 報告書送付 250部配布

当日の内容や、使用したシートなども参考資料として盛り込んだ報告書として出来上がったので、今後、他の学校等でも、同様な内容、方向性を実施していくことが可能となりそうである。実際に、他の学校の先生で、実験的に実施したいという意見を伺うことができた。

2. 予想される事業実施効果

学校のキャリア教育の中で、同様の立場が異なる方法や、審査をするという視点を盛り込んだ授業を展開していく為、また地域連携のプログラムの新しい視点として展開が可能になった。

当法人の活動として、定期的に、特定の学校とではなく、広く一般から公募した子ども達を対象に同様のイベントとして実施できることが検証されたので、今後、幅広く活動を展開していくことを見込んで計画を立てられる。

地域の商店街と組んで、地域活性化も担った新しい子どもと大人のプロジェクトとして、地域商店会などの企画として実施できる可能性が示唆された。今後、地域との連携、商店会が学校と関わる方法の一つとして地域一体型の活動を展開できる。

3. 本事業により作成した印刷物

平成23年度 実践的研究を通じた人間力育成支援活動「仕事プレゼン2011」報告書



4. 事業内容についての問い合わせ

団体名：特定非営利活動法人 日本エデュテイメントカレッジ

住所：千葉県浦安市美浜1-4-103

代表者名：代表理事 大住 美穂（オオスミ ミホ）

担当者名：柴田礼子（シバタレイコ）

電話番号：048-687-7081

F A X：048-687-7091

E - m a i l： info@edutainmentcollege.org

U R L： <http://www.edutainmentcollege.org/>